

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
情報処理科 システム開発コース											
プログラミング実習 1											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	齋藤、塚本			実務経験	有	職種	システムエンジニア（塚本）、運用エンジニア（齋藤）				
授業概要											
「プログラミング基礎」をベースに、より実践的なプログラミング技術を学ぶ。											
到達目標											
C言語によるプログラミングに必要な以下の事項を講義、演習を通して理解する。変数、演算、式の値、制御構文（繰り返し、条件分岐）、配列と文字列、ポインタ、関数、構造体、ファイル入出力、並べ替えのアルゴリズム、線形リストなどのC言語における基本的な知識を正しく理解しプログラミングを行えるようになることを目標とする。主に、問題解決力・分析能力を身につけることを目的としている。											
授業方法											
C言語における基礎を学び、プログラミングにおける基本的な考え方を身に着ける。練習問題などを作成しながら、各項目を確認しC言語の基礎を理解する。変数、演算、式の値、制御構文（繰り返し、条件分岐）、配列と文字列、ポインタ、関数、構造体、ファイル入出力、並べ替えのアルゴリズム、線形リストの作成などについて実習を通して学習していく。											
成績評価方法											
試験と課題、理解度確認の小テストを総合的に評価する。授業参加度、授業態度も評価に含まれる。											
履修上の注意											
テキスト、ノート、筆記用具、ノートパソコンを必ず持参すること。必ず復習を行うこと。授業時間内に終わらなかった演習問題がある場合は、各自で次の授業までに終わらせておくこと。授業に出席するだけでなく、社会人への移行を前提とした受講マナーで授業に参加すること。特別な理由（路線の運休、法定伝染病など）のない遅刻や欠席は認められない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
新・明解C言語入門編											
回数	授業計画										
第1回	授業環境の確認										
第2回	演算子とデータ型										
第3回	分岐文										

2022年度 日本工学院八王子専門学校	
情報処理科 システム開発コース	
プログラミング実習 1	
第4回	繰り返し文
第5回	分岐と繰り返し
第6回	配列
第7回	関数(1)
第8回	関数(2)
第9回	演習問題
第10回	文字列と配列
第11回	ポインタ
第12回	構造体
第13回	構造体とポインタ
第14回	ファイル処理
第15回	総合問題